

保健福祉センターのお仕事紹介

家庭訪問



家庭や施設等生活する場へ出向き、地域住民（母子・成人・高齢等）に対して、必要な支援を行います。

健康相談



本人や家族等から、生活習慣病や認知症・精神疾患など、健康に関する幅広い相談を受けています。

健康教育



対象者が抱える健康課題に応じたアプローチを行い、行動変容を促せるように取り組んでいます。

子育て教室



地域の中で安心して子育てができるように、教室を開催し、計測や育児相談を受けています。

百歳体操



吉本興業株式会社と「百歳体操DVD」を共同で作製しました！



高齢者の方がいきいきと元気に暮らせるように、地域住民と一緒に、介護予防に取り組んでいます。

乳幼児健診



3か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診を集団健診で実施しています。

区の独自事業



地域診断に基づいて地域の特性を把握し、区の健康課題に応じた事業を企画立案して展開しています。

関係機関との連携



関係機関と意見交換を行い、地域の課題を共有し、地域住民の健康のために一緒に活動しています。

健康危機管理対応



災害時の健康危機管理ができるよう、マニュアルを策定し、平時から災害対策に取り組んでいます。また感染症の集団発生などへの対応も行っています。

先輩からのメッセージ



田中 萌結
大正区保健福祉センター
(令和6年度採用)

区保健福祉センターで、家庭訪問や百歳体操、妊婦教室などを行っています。担当地域では健康教育を行う機会が多く、住民さんに分かりやすいと思ってもらえるように企画や資料作成を頑張りました。実際に住民さんから「良かった」と言っていたときは嬉しかったです。初めての健康教育は妊婦教室の沐浴指導で緊張しましたが、何度も予演会を開いてくださったおかげで自信がつき、本番後は達成感がありました。住民さんや見守り推進員さんから「田中さん」と声をかけてもらえると保健師としてやりがいを感じます。ぜひ一緒に働きましょう！

1日のスケジュール (例)

9:00	始業 (朝礼、メールチェック、準備等)
10:00	妊婦教室の資料やアンケートの準備
10:30	健康教育 (骨の健康について) の資料作成
11:30	家庭訪問
12:15	昼休み
13:00	乳幼児健診従事
16:00	訪問記録作成
17:30	終業



鎗内 隼
健康局保健所
感染症対策課
(令和2年度採用)

感染症対策課結核グループに所属しており、結核罹患率の低下に向けての対策を行っています。また、疫学調査や接触者健診等の他にもデータ分析も行っており、保健師としてのスキルアップができます。保健師は男性が少ないこともあり、不安なことがあるかもしれません。

でも気負わなくて大丈夫です。困ったときは周りの方と相談しながら進めていくことが出来ます。ぜひ一緒に働きませんか。困ったときはいつでも相談にのりますよ！

1日のスケジュール (例)

9:00	始業 (メールチェック、各種事務作業)
10:00	結核対策への課内会議出席
12:15	昼休み
13:00	集団接触者健診への従事
15:00	会社や施設等への疫学調査
17:30	終業



大森 祐美
鶴見区保健福祉センター
(平成27年度採用)

健康危機管理担当として、災害への備えに取り組んでいます。災害時円滑に支援を行い、地域住民が健康を損なわずに過ごせるような、災害に強いまちづくりのために働けることにやりがいを感じています。定期的に研修があり、担当者間の意見交換もできるため、スキルアップしながら安心して働くことができます。私自身2人の子育て中ですが、サポート体制が整っており、職場全体で協力し合う困気のとても働きやすい職場です。ぜひ一緒に働きましょう。

1日のスケジュール (例)

9:00	始業 (朝礼、メールチェック)
10:00	健康相談対応
12:15	昼休み
13:00	防災担当との情報交換
14:00	難病患者さん宅訪問 体調確認、災害時の個別避難計画作成
16:00	帰庁、記録作成
17:30	終業

オフの日は家族や友人との旅行でエネルギーチャージをしています！



淀川区役所 保健副主幹
(淀川区保健福祉センター)
野崎 真実

淀川区には、健康相談担当 (地域保健活動分野) に14名、高齢福祉担当に3名、子育て支援室 (児童福祉分野) に2名、合計19名の保健師がいます。

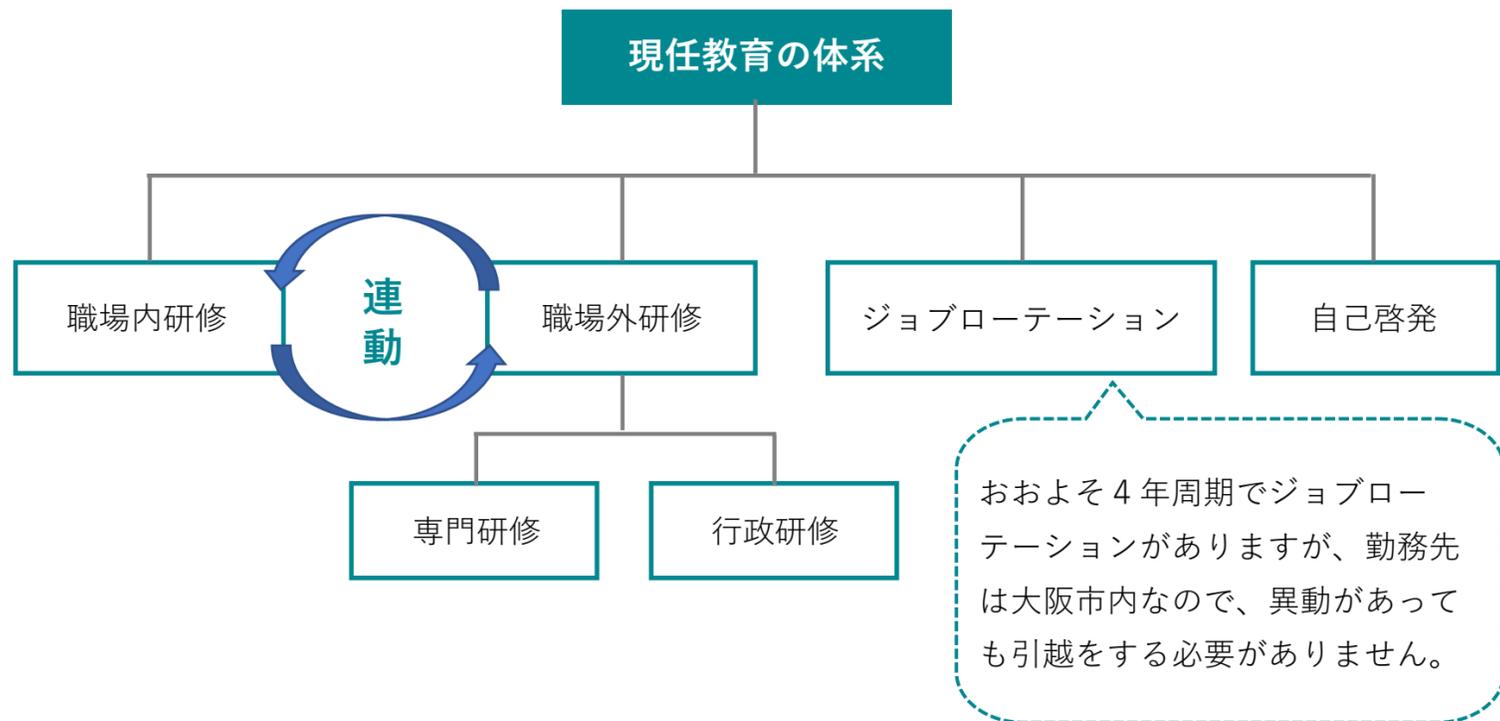
保健師は地域住民のライフステージのあらゆる場面に関わり、健康課題の解決に向けて取り組んでいます。母子保健や感染症対応、介護予防等保健師活動は多様で困難ケースの支援で対応に悩むこともありますが、上司や同僚と課題を共有し、ともに悩み、助け合いながらチーム支援で対応しています。

支援が上手くいったときはその喜びを分かち合い、個々の保健師は自身の成長を実感し、保健師としてのやりがいを感じながらいきいきと働いています。

区の統括保健師として、ともに育ち合い、日常のコミュニケーションを大切にしながら気軽に相談し合える職場環境づくりをしています。ぜひ一緒に働きましょう。

大阪市保健師の人材育成

大阪市では、大阪市保健師人材育成ガイドラインを作成し、体系的な人材育成を実施しています。専門職としての保健師の人材育成は、職場内でのOJT（職場内研修）・Off-JT（職場外研修）・ジョブローテーション（人事異動・人事交流）によって行われます。さらに、大阪市保健指導研究会を自主組織として運営し、勉強会や研究活動など自己啓発を図る仕組みがあります。



OJTを効果的に行うため、業務上の困りごとや悩みを上司や先輩保健師に気軽に相談できる職場環境を整え、より良い雰囲気づくりに努めています。

事例検討会

事例への対応について、情報を整理・意見交換を行い、悩みを共有し、対象者へのよりよい支援を考えています。必要に応じて、精神保健福祉相談員や他職種（医師や心理士など）にアドバイザーとして参画を求めることもできます。



プリセプター体制

大阪市保健師は「プリセプター体制」を導入しています。身近な先輩がプリセプター（指導者）として採用3年目までの新任期保健師とペアを組んでいます。日常業務を通して、保健師の専門能力の育成だけでなく、行政能力の育成に向けた指導を行っています。

新任期保健師 育成支援事業

新人保健師の知識と保健指導技術を高めるため、経験豊富な退職保健師が家庭訪問等の保健活動に同行し、やさしく丁寧な指導・助言を行っています。

統括保健師からのメッセージ



大阪市健康局
保健指導担当部長
青木 理恵（保健師）

大阪市は昭和3年に我が国で初めて「保健婦」という名称が使われた地であり、政令指定都市でありながら、長年高い水準の保健師教育を行ってきました。現在、大阪市の保健師は498名を定数としており、24区の区役所、大阪市保健所、大阪市こころの健康センター、児童相談所、大阪市役所内の各部局等で「大阪市民の笑顔が輝く健康なまちづくり」をめざして活動しています。

大阪市の保健師活動の魅力は、地区担当制を基盤として、あらゆる健康課題に対応し、地域特性に応じた事業の企画・立案などが行えることにあります。また、地域住民に寄り添い、地域住民とともに活動することでソーシャル・キャピタルを醸成し、地域ケアシステムを構築していくといった、保健師らしい仕事を行うことができます。

また、2019年度に作成した「大阪市人材育成ガイドライン」に基づいた体系的な研修やOJTを行っており、自己研鑽の場として85年の歴史を持つ「大阪市保健指導研究会」を組織していることも強みとなっています。

保健師は、本当に楽しい、やりがいのある仕事です。志ある皆さまと共に、活動できることを心から楽しみにしております。



高層ビルが立ち並ぶ大都会の特徴と
下町の人情味が色濃く残る地域もあり、
外国、特にアジアの文化も共存する
国際都市大阪市で、あなたの力を輝かせてみませんか

【保健師採用試験に関する問い合わせ先】
大阪市健康局総務部総務課
〒530-8201 大阪市北区中之島1-3-20
電話番号 06-6208-9922

